



2016-2017年度
東日本区 理事通信
第20巻09号
2017年3月3日



「理事メッセージ」

あいさつ

梅の香りと日中の温かい日差しに春の訪れが近いことを感じる今日この頃でございますが、みなさまには引き続き、ワイズ運動にご奉仕いただいていることに感謝いたします。

さて、未曾有の被害をもたらした、2011年3月11日の東日本大震災から6年が経過しようとしています。これまで東日本区としても、各クラブとしても、様々な支援活動をしてまいりました。しかし、まだまだ苦しみの中にある被災者が多数いらっしゃることを覚え、今後も支援を継続してまいります。東日本大震災支援募金へのご協力をお願いいたします。

さて今月はBF (Brotherhood Fund) とメネットの強調月間です。今年度はBF代表の受入れはキャンセルになってしまいましたが、派遣では、台北の国際大会に、現東日本区書記の吉田公代ワイズ (川越クラブ) がパーシャルグラント (旅費の一部補助) を受けて参加しました。国際的な組織ならではの派遣と受入による交流事業です。積極的にご利用ください。

もう一つの強調月間であるメネット事業ですが、東日本区のメネットは、高齢化や人数の減少はあるものの、メンの活動を支援しつつ、独自の国内・国際的奉仕活動を着実に継続しています。今月はメネット例会を開くクラブもあると思いま

す。メネット会が有る無しにかかわらず、同じ目的をもつパートナーとして、メンとメネットの協働を考えるとときとしてください。

三寒四温の不順な気候が続く時期です。みなさまのご自愛とご健勝をお祈りいたします。

第2回東西交流会、大成功に終了

去る2月4日 (土)、5日 (日)、日本YMCA同盟・東山荘で開催された、第2回東西日本区交流会が370名のワイズメン、メネットの参加を得て、大成功のうちに終了いたしました。大会テーマの「語ろう！未来につなぐワイズスピリット」のもと、旧交を温める場、新しい出会いの場となり、大いに学び、語り、楽しむときをもちました。

東日本区創立20周年記念事業の柱の1つであるこの交流会が、このように盛大に実行できましたことに対し、田中実行委員長をはじめ、様々なご奉仕、ご協力をいただいた方々、素晴らしいサービスをご提供いただいた東山荘スタッフの方々、そして参加された全ての方々に感謝申し上げます。

<報告>

参加者：東日本区188名、西日本区171名、台湾区 (台北A-LISTクラブ (交流会にて大阪泉北クラブとIBC締結)) 11名 合計370名

なお、最終的な会計処理の結果、残金が1,001,866円となり、バザーの売り上げ55,120円、集合写真の売り上げ35,502円と合わせて、1,092,488円を「東山荘100年募金」に寄付することとなりました。みなさまのご協力に再度感謝いたします。



〔集合写真の迫力をご覧ください。〕

国際役員選挙結果

各クラブ会長が投票権をもつ 2017-2018 年度国際役員選挙結果が発表され、次期アジア太平洋地域選出国際議員/次期アジア太平洋地域会長に田中博之ワイズ（東京多摩みなみ）が選ばれました。来期から次期国際議員、次期地域会長としてご活躍されます。区を挙げて応援をお願いいたします。

2017-2018 年次期国際会長：ムン・サン・ボン（Moon Sang-Bong）さん



国籍：韓国

クラブ：麗水ハンリョ・クラブ

職業：ビジネスマン

ワイズ歴： 1981 年 10 月 23 日にチャーターされた、ハンリョ・クラブのチャーターメンバー。ワイズダムのほとんどすべてのリーダー的な役職を経験。部長として 3 クラブ、EMC 事業主任として 3 クラブ、理事として 5 クラブを設立。理事としては、535 名の新会員を獲得。ムン氏は、理事として、以前のワイズのリーダーや YMCA と連携し、強固な韓国地域の創設、確立に尽力した。ムン氏は、故郷である麗水で開催される 2018 年国際大会ホストコミッティの委員長を務めている。

2017-2018 年次期国際会計：フィリップス・チェリアン（Philips Cherian）



国籍：インド

クラブ：バンガロール・インディラナガール

職業：公認会計士

ワイズ歴：1985 年、エルナクラム・メトロポリタン・クラブのチャーターメンバーとして初めてワイズ会員となる。1989 年バンガロールへ転居。クラブですべての役職を経験。部長、区会計、区大会会計、地域ファミリー・フェスティバル会計、地域ウェブ・マスターを歴任。2011 年から、インド地域国際会計、2015 年国際会計就任。継続し

て、クラブ、部、区、地域および国際レベルで活
発に活動。

2017-2018 年次期アジア太平洋地域選出

国際議員・次期アジア太平洋地域会長

田中 博之 (Tanaka Hiroyuki)



国籍：日本

クラブ：東京多摩みなみ

職業：損害保険会社社員

ワイズ歴：2000年、東京クラブ入会。

2003-2004年、東京クラブ会長

2004-2005年、東日本区国際・交流事業主任

2005-2007年、東日本区LT委員長

2007-2008年、東新部部長

2007-2008年、アジア地域会計

2007-2010年、横浜国際大会事務局長

2009-2013年、東日本区ITアドバイザー

2010-2011年、東日本区書記

2010-2012年、国際IBC事業主任

2011-2013年、東日本大震災支援対策本部統括

2014-2015年、東日本区理事

2015～ アジア(太平洋)地域IBC事業主任

2016～、東京多摩みなみクラブ書記(チャーター
メンバー)

2016～、東新部書記

国際憲法条項改正にかかる選挙結果

国際役員選挙と同時に行われた国際憲法条項の
改正にかかる投票結果は以下のとおりとなりました。

1. 国際議会議員の資格要件—第4条 立法役員 第3項 → 承認

改正後：第3項 各クラブは、選挙期日の
90日前迄に、その地域選出の国際議会議員
候補者1人の指名を、国際事務局および現
地地域代表国際議会議員に申し出ることが
できる。この候補者は、国際議会により定
められた資格要件を満たさなければならない。
地域は国際議会の承認を得て地域独自の
資格要件を定めることができる。若手国
際議会議員の資格に関しては、国際議会に
よってのみ定められる。・・・

2. 若手国際議会議員の次期地域会長職への 被選挙権—

第5条 行政役員 第1項 → 承認

改正後：「第1項 A. この協会の選挙に
よる行政役員は、国際会長、次期国際会
長、直前国際会長、国際会計および国際議
員である地域会長とする。地域会長は、各
地域が定める手続きによって選出される。
各地域は、その憲法の中で若手国際議会議
員となった者の次期地域会長の役職に関す
る被選挙権を定める。」

3. 国際議会に2議席以上有する地域の場合の 次期地域会長選挙—第5条 行政役員 第 1項B → 承認

改正後：第1項 B. 「議会に1議席しか
有しないちいきにおいてはその議席は、当
該地域会長がしめることとする。2議席以
上有する地域においては、次期地域会長
は、在職中の地域国際議会議員の中からそ

れぞれの地域会長任期ごとに選出されなければならない。いずれの場合も、その任期全1年間を次期地域会長として勤められるように事前に選出されなければならない。」

4. 国際会長三役（トロイカ体制）を構成する 3つの異なる地域代表権—第5条 行政役員 第2項A → 否決

直前、現、次期国際会長がすべて異なる地域から輩出され、グローバルな視点を持って世界中の会員に最大限奉仕するため、「2017年7月1日をもって、区は指名の時点で現国際会長もしくは現次期国際会長と同じ地域の出身者を次期国際会長職に指名してはならない」という条文を追加することが議案の骨子でしたが、否決されました。

東日本区大会関係ニュース

1. お早めに登録を！

去る2月4日、5日の東西日本区交流会にご出席の方には手渡しで、それ以外の会員には郵送で、第20回東日本区大会登録のご案内が届けられました。参加申込書でファックスにて受け付けております。また、区大会のホームページは東日本区のホームページから入れますので、用紙のダウンロードや情報の確認にご活用ください。。

2. ヤングメンバー補助制度の活用を！

東日本区では、39歳以下のヤングメンバーの定着を目指し、区の会員増強を図る一助として、ヤングメンバーが東日本区大会に参加する場合、登録費の半額を補助する制度があ

ります。該当する会員は申請をお忘れなく行ってください。詳細は区事務所にお問い合わせください。

3. 記念講演は一般公開！

区大会1日目の6月3日(土)16時からの記念講演は一般公開されます。講師には、廃線に追い込まれそうなローカル線を復活させたことで有名な、いすみ鉄道株式会社代表取締役社長の鳥塚 亮氏をお願いしており、演題は「ローカル線を救う おもてなし～危機を乗り越え、地域を元気にする方法～」です。ワイズ再興の秘訣、ビジネスのアイデア、鉄道ファンへの情報など、様々な切り口で楽しめる講演ですので、会員でない方もどうぞお誘いください。

年次代議員会公告

2016～2017年度の年次代議員会は、東日本区大会に合わせて2017年6月3日(土)午前10時30分から川越ウェスタで開催されることを、東日本区定款第6条第7項に基づき公告いたします。

代議員会は東日本区における最高意思決定機関ですので、すべてのクラブ会長、部選出代議員および人数割り代議員は必ずご出席ください。

なお、クラブまたは部が議案を提出する場合は、東日本区定款第6条第8項の定めにより4月7日(金)までに議案提案書を東日本区理事（東日本区事務所内）にご送付ください。議案提案書は、東日本区事務所に請求されるか、東日本区ホームページからダウンロードしてください。

第27回アジア太平洋地域大会の登録はお済みですか？

来る7月21日(金)から23日(日)まで、タイのチェンマイで開催される地域大会は、アジア太平洋地域となって初めての大会です。まだ登録がお済みでない方は、3月31日までがアーリーバード(早期割引)の登録費で320USドルですので、お早めにお申し込みください。多くの方の参加をお願いいたします。

各種募金へのご協力に感謝いたします。

1. 東日本区大震災支援募金、熊本地震支援募金

沼津クラブ 各57,000円 計114,000円
クラブ設立50周年記念例会スマイルから

2. JEF基金

- (1) 御殿場クラブ 杉山 将己ワイズ
東日本区支援のため 10,000円
- (2) 熱海クラブ 栗本 治郎ワイズ
東西日本区交流会の成功を祝して
10,000円
- (3) 東京武蔵野多摩クラブ 宮内 友弥
ワイズ 6回目の年男を迎えて
10,000円

理事 利根川 恵子

新しい仲間

右記の方々が2017年2月1日以降に新しく入会されましたので紹介します。心から歓迎します。
(敬称略)

- 2月15日 久保田恵子(長野)
- 2月18日 杉谷美砂(沼津)
- 2月25日 富樫紀代美(再入) (東京コスモス)
- 2月28日 日下智博(熱海)
- 2月28日 清水 仁(熱海)
- 2月28日 森田金清(熱海)

東西交流会エクステンションプログラム

『アンケート集計結果のご報告』

日頃より、ワイズダムのご奉仕に感謝を申し上げます。

2月4日に行われた交流プログラム『エクステンション』に36名のメンバーにご参加頂き、少ない時間の中ではありましたが、パネラーの熱いメッセージにより実のある交流会となりました。大変、有難うございました。

17名から寄せられたアンケートを集計しましたので、以下の通りお知らせいたします。

エクステンションにとって大切と思われる項目を揚げました。これに優先順位を付けてください。

- ① Y M C Aの活動拠点が存在する地域
- ② エクステンション後、独自の地域奉仕活動が持続可能なエリア
- ③ メンバー15名を確保する上で、キーパーソンは絶対必要だ
- ④ 設立に際し、既存メンバーと価値を共有し、協力体制を作ること
- ⑤ Yスタッフとの間でワイズ理解を深め合う機会を持つこと
※どれも大切なので順位を付すことは、出来ないという方は()に1を記入してください。

③に1を付した方が12名、①②が各4名、④が3名、⑤が2名でした。

次に、1位から3位までは、③を全員記入しています。①が13名、④が11名、②が10名、⑤が3名の順でした。以上の結果から分析すると①と③はエクステンションには必須条件で、

そのためには、④のメンバーの協力が欠かせない。そして②の独自の地域奉仕活動は、クラブ事業の充実・発展と共に活性化に繋がっていくものと推察されます。

アンケート並びにご感想を纏めてみました。私は区の会員増強ということからこのプログラムを担当することになりましたが、参加者の皆様のご期待に応えられたかと思うと反省が残ります。

クラブメンバー各位のご活躍と貴クラブのご発展を祈っております。

東西交流会エクステンションプログラム担当

東日本区会員増強事業主任 菊地弘生

「ユース・リーダーズ・アクト2017」報告

2月25日、26日の両日、北東部・とちぎYMCA主催のユース・リーダーズ・アクト2017が本年度ユース事業で取り組まれた部主催のユース育成事業として開催されました。25日には、少年ドッジボール大会に盛岡YMCA、とちぎYMCAのユースが被災した福島県南相馬市と宮城県多賀城市のチームを含む30チームのサポーターや大会運営支援を行い、その夜は、ユース同士お互いの交流を図りました。

26日には、「福島の子どもたちと一緒に笑顔！」をテーマとしたフォーラム『みらくるプロジェクト』を開催しました。ユース39名にワイズを含む総勢58名が「今、私たちにできること」について話し合いました。

宇都宮大学の中村教授、宇都宮大学生の小原君、福島県南相馬市で活動している4人の男子高校生の講演を聞き、午後からグループで話し合いを行い学びと交流の時を持ちました。

開催にあたり、北東部、北東部各クラブ、東日本区メネット会からご支援をいただきました。ありがとうございます。



東日本区ユース事業主任 大久保 知宏



YMCA だより

連絡主事 光永尚生

3月4日~5日にかけて、ワイズメンズクラブ東日本区次期役員研修がYMCA 東山荘にて開催されます。利根川理事期も第4コーナーに差し掛かろうとしています。最後の直線まで無事に進むように祈りながら過ごしたいと考えております。

まもなく、2011年の3月11日から数えて6回目の東日本大震災の日を迎えようとしています。ワイズメンの皆様には、継続的なご支援を今も行われていますが、YMCAでも、盛岡YMCA、仙台YMCA並びに、全国のYMCAも支援活動を続けております。くしくも、熊本地震により多くの被害を受けた皆様に対して、熊本YMCAを中心とした活動は、阪神淡路大震災、東日本大震災の支援活動の継続と蓄積により培われたネットワーク力で大きな働きを進めてきました。今も継続されていますが復興の象徴である熊本城の再建は、2032年を待たねばなりません。その間にも、新たな自然災害、大規模テロによる脅威なども予測されています。

YMCA 東山荘では、3月11日を「防災都市御殿場たいけんの日」と位置づけ、御殿場市から、市

民協働型事業として認められた新たな働きを行います。御殿場市への市民協働型事業に申請し、年間で30万円の助成金をいただき、事業を行う予定です。これは、東山路観光協議会という地域団体を構成し「観光ハブ都市御殿場づくり」のための地域マップづくりに続いて認められた協働型の事業です。今回は、熊本YMCAから、熊本県益城町総合体育館の副所長並びに、避難所運営の指揮をとっていた、丸目陽子さんをお招きして、益城町総合体育館での避難所体験をYMCA 東山荘の体育館にて復元するという試みです。当日は、御殿場市から起震車、けむる部屋、消防の救急講習会、防災備品、非常食展示など、もりだくさんの内容が実行委員会によって考えられました。そして、サブテーマは、「YMCA 東山荘オープンハウス」親子で体験して、防災意識を高めようです。ここには、YMCAのもっとも大切とする、ファミリーへのアプローチが含まれています。「災害は忘れたころにやってきます」が、「忘れないように、すればよい」

そのためには、習うより、慣れよではないでしょうか。

Practice makes perfect !!